

活動報告・広島市立元宇品小学校

実施日	2025年11月26日(水)13:00～15:00		天気	晴れ
テーマ	秋の森の観察	参加者	3年生8名、4年生12名、引率3名、ガイド3名	
ルート	元宇品小→ハゼノキ→地下壕跡→海岸→小径→石ベンチ→赤とんぼ広場→学校 18.6℃			
準備	事前にミニガイドブックを配布、当日は森の観察ビンゴ			
観察物	ハゼノキの紅葉、ジョロウグモ、戦時中の地下壕入り口、センダングサの引っ付き虫 クスノキの大木と葉の匂い、板根、シダの葉、カクレミノ(じゃんけんの木)、クロキ、カゴノキ メタセコイア、ツブラジイのドングリ、アベマキの大木とドングリ、マイマイの食事跡、苔平			
活動	今日は秋の森の観察です。普段は入らない森の小径をガイドさんの案内で観察して歩きました。薄暗い森の中、大きなクスノキにびっくりです。元宇品は花崗岩でできた島で、土壌が薄いので根を板のようにして大木を支えています(板根)。大きな板根に皆で座ってみました。小径を歩きながらタブレットで撮影して記録します。ドングリを拾ったり、クスノキの葉を揉んで匂ってみました。最後は苔の絨毯に座って一休み、見て、聞いて、匂って、触れて…五感を働かせた一日でした。こんなにすごい自然が元宇品に残っているのはなぜかな?生徒さんはその理由を勉強したいとのことでした。			



ハゼノキのが色付きました



一緒に板根に座ったよ



森の小径



メタセコイアの紅葉



桜の老木を見上げて



マイマイの食事痕の観察



ツマジロエダシャク



苔の絨毯で一休み